

科目名 診療画像機器工学実験

1 単位 45 時間 夜間部 2 年 前・後期 担当講師 内田 盛康、坪子 敏和

教育目標

放射線に関する基礎知識を前提として、使用する装置・器具・機能及び、操作法について教授する。

使用教材 新・医用放射線技術実験（臨床編） 田中 仁 共立出版㈱

一回あたりの学生数 1 クラス 班の構成 4 班 一班あたりの学生数 約10名

出欠確認方法 点呼 試験 無 評価方法 レポート

授業概要（前期）

- 1 回 ガイダンス（実験の心得、レポート作成等）
- 2 回 X線用グリッドの特性（物理特性、幾何学特性）
- 3 回 //
- 4 回 CRシステムの特性（階調処理）
- 5 回 //
- 6 回 X線撮影条件設定（n 値特性）
- 7 回 //

授業概要（後期）

- 8 回 X線管の焦点測定（ピンホールカメラ、スターチャート法）
- 9 回 //
- 10 回 半価層測定（HVL），変動係数（C）
- 11 回 //
- 12 回 まとめ（インバータ、MTF）
- 13 回 予備日

【実務経験】

診療放射線技師としてクリニックに27年間勤務。医療機関での実務経験をもとに、診療画像機器工学について話します。 (内田)

診療放射線技師として総合病院に27年間勤務。医療機関での実務経験をもとに、診療画像機器工学について話します。 (坪子)